

- 先進地を視察した委員からの報告を受けました。
これまでの議論を整理し、基本構想(素案)をまとめました。

第5回委員会 平成24年12月3日(月)18時~19時30分 於 徳山保健センター3階 講義室1

【議事要旨】

<先進地視察の報告について>

- *庁舎整備に係る規模算定の参考にするため訪問した岩国市庁舎について、視察した委員から報告を受け、情報を共有しました。(参加者：委員3名、市職員2名)
- *視察した委員からは、参考になったという声とともに、コンパクトな庁舎を目指しつつ、空間の使い方にメリハリや柔軟性を持たせることが重要との意見が出されました。また、防災機能の充実や環境負荷の低減、季節や地域性を感じられるように工夫する必要があるとの意見もありました。

<基本構想(素案)について>

- *主に第2回~第4回までの議論をまとめた基本構想(素案)(本編、資料編)について確認しました。

<今後の検討の流れについて>

- *アンケート結果、基本構想(素案)の概要とそれに対するパブリックコメントを実施することについて、1月15日号の広報やホームページで周知することを確認しました。

基本構想(素案)の構成

1. 現状と課題

⇒庁舎の立地状況や築年数などの基礎的な情報と本庁舎の老朽化の状況や課題などを整理

2. 庁舎整備の必要性

⇒庁舎整備に関する過去の検討経緯や上記課題を踏まえ、根本的な課題解決を見据えた早急な整備の必要性を整理

3. 上位計画の概要

⇒関連する上位計画の中で、庁舎整備に関する施策を取り上げ、整備の条件として整理

4. 庁舎整備の理念及びこれからの庁舎のあり方

⇒庁舎整備の理念(「安心」と「つながり」のまちづくり拠点)と、これからの庁舎のあり方として、6つの目指す庁舎イメージを設定

5. 庁舎整備の手法

⇒耐震リニューアルや全面建替えなどの整備手法をコストや機能、課題などを踏まえて比較・評価し、最も優れた手法として全面建替えを選定

6. 庁舎の場所

⇒まちづくりとの連携や上位計画との整合を踏まえ、庁舎整備に最適な場所として現本庁舎敷地

7. 庁舎の規模

⇒将来の人口減などを踏まえ、新庁舎の規模(延床面積)を約20,000㎡として想定

8. 事業の進め方

⇒事業形態、概算事業費、財源、スケジュールについて整理

※：会議の資料や議事録については、下記周南市ホームページをご参照ください
http://www.city.shunan.lg.jp/section/somu/choshajyunbi/tyoshajyunbi_top.html